

マレーシア・サラワク沖 ジンタン・ガス田の商業生産開始
～ SK-10 鉱区、SK-8 鉱区の 3 ガス田で商業生産に移行 ～

平成 16 年 9 月 6 日
帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（社長：磯野 啓）が出資する日石サラワク石油開発株式会社(新日本石油開発株式会社・帝国石油株式会社・三菱商事株式会社・石油公団による石油開発プロジェクト会社)は、同社が 37.5%の権益を保有するマレーシア・サラワク沖 SK-8 鉱区内のジンタン・ガス田において、オペレーターであるロイヤル・ダッチ・シェル社と共に天然ガスの開発を行っておりましたが、この度、同ガス田における生産設備が完成し、商業生産を開始することになりましたのでお知らせいたします。

日石サラワク石油開発株式会社は、1991 年 8 月にマレーシア・サラワク沖 SK-8 鉱区のプロジェクト会社として設立され、その後の探鉱活動の結果、1992 年から 1994 年にかけて複数のガス田を発見し、セライおよびジンタン・ガス田の商業生産に向け、2002 年に天然ガス生産設備の建設に着手しておりました。

今回商業生産を開始するジンタン・ガス田の生産量は、天然ガスが日量最大約 1,400 万立方メートル（原油換算：約 8 万バレル）、コンデンセートが日量最大約 1 万 4 千バレルとなる予定であります。すでに生産を開始している同社のセライ・ガス田（SK-8 鉱区内で今年 6 月から商業生産開始）と、当社が出資する日石マレーシア石油開発株式会社(新日本石油開発株式会社・帝国石油株式会社・三菱商事株式会社・石油公団による石油開発プロジェクト会社) SK-10 鉱区内のヘラン・ガス田（SK-8 鉱区の近隣に位置する SK-10 鉱区内で昨年 11 月から商業生産開始）の 3 つのガス田を合計すると、天然ガスは日量最大 2,900 万立方メートル（原油換算：約 17 万バレル）、コンデンセートは日量最大 4 万 2 千バレルの生産を見込んでいます。

以上

マレーシア・ガスプロジェクトの概要

	SK-8 鉱区		SK-10 鉱区
権益保有者 (※オペレータ)	※シェル ...37.5% 日石サラワク...37.5% → チャリガリ ...25.0%	新日石開発 39.02% 石油公団 37.48% 帝国石油 15.00% 三菱商事 8.50%	※日石マレーシア 75.0% → チャリガリ ...25.0%
		新日石開発 40.15% 石油公団 38.58% 帝国石油 15.00% 三菱商事 6.27%	
開発対象ガス田	ジンタン・ガス田	セライ・ガス田	ヘラン・ガス田
開発開始時期	2002年1月	2002年12月	2000年4月
生産開始時期	2004年8月(今回)	2004年6月(生産中)	2003年11月(生産中)
Pj会社開発投資額	約92百万米ドル	約36百万米ドル	約360百万米ドル
ガス生産量(予定)	日量1,400万 m ³	日量800万 m ³	日量700万 m ³
(参考) LNG換算 原油換算	約320万トン/年 約8万バレル/日	約200万トン/年 約5万バレル/日	約160万トン/年 約4万バレル/日
コンデンセート生産量(予定)	約1万4千バレル/日	約8千バレル/日	約2万バレル/日